

## 安全データシート〈SDS〉兼 要約 GHS分類シート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	: インパクトクリーナー ムースタイプ〈IMPACT CLEANER MOUSSE TYPE〉
用途	: 油分洗浄・その他汚れ落とし
販売者	: 株式会社 Wing M
住所	: 〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目4番8号
電話番号	: 011-748-3103
FAX番号	: 011-748-3104
メールアドレス	: info@wing-m.net
緊急連絡先	: 011-748-3103

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品のGHS分類

物理的・化学的危険性	エアゾール	区分 2
健康有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷 眼刺激性	区分 2 A
	特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	区分 3
	特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	区分外
環境有害性	水性環境有害性 短期(急性)	区分外
	水性環境有害性 長期(慢性)	区分外

## GHSラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

H223 可燃性/引火性エアゾール  
H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ  
H303 飲み込むと有害のおそれ  
H315 皮膚刺激のおそれ  
H319 強い眼刺激

## 注意事項

## 安全対策

取扱後は、付着した箇所をよく洗う。(P264)  
屋外または換気の良いところで作業若しくは使用する。(P271)  
保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。(P280)  
使用しない場合は、容器を密閉する。(P233)

## 応急措置

飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに口をすすがせ  
直ちに医師の手当てを受けさせる。(P301+P317)  
皮膚又は髪に付着した場合は、流水/シャワーと石鹸でよく洗い  
皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。(P302+P352)  
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は  
可能ならば外して洗浄する。(P305+P338+P351)  
刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。(P313+P337)  
吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移して休息させ  
速やかに医師の手当てを受けさせる。(P304+P340)

## 保管

容器を密閉し直射日光/火気/熱源を避けて、凍結しない状態で  
涼しい所/換気の良い所に保管。(P235+P403)

廃棄

排水処理基準を遵守して廃棄すること(Ph に注意)

### 3. 組成、成分情報

含有成分	CAS No.	含有率
水	7732-18-5	90%
非イオン界面活性剤	29781-81-5	非公開
陰イオン界面活性剤	9004-82-4	0.8%
メタ珪酸ソーダ	1344-09-8	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	2.1%

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、安静にさせ速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	流水/シャワーと石鹸でよく洗い、皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄をする。 刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせずに口をすすがせ、直ちに医師の手当てを受けさせる。

### 5. 火災時の措置

消火剤	泡、散水または噴霧水、炭酸ガス
消化方法	可燃性のものは周囲から速やかに取り除くこと。 火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。 消火作業の際は、保護用具を着用して風上から行うこと。 大規模火災には、泡消火剤を使用すること。
消火を行う者の保護	適切な保護用具(耐熱服、手袋、呼吸保護マスク等)を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業には必ず保護具を着用する。十分な換気若しくは通気性の良い所で作業する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避ける。
除去方法	可能な限り、ウエス等で吸着させたりして回収する。 必要があれば希釈して回収し、大量の水で洗い流す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	吸入、皮膚への接触を避け、眼に入らないように適切な保護具を着用する。 取扱いは、換気の良い場所で行う。 取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設ける。 火気、スパーク、高温体の周囲で使用しないこと。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
注意事項	換気の良い場所で取り扱う。 皮膚及び眼への接触を避ける。
安全取扱注意事項	取扱い後は、よく手洗い等を行う。 適切な保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	容器を密閉して、換気の良い場所で保管する。 直射日光を避け、火気や熱源から遠ざけ、また凍結させない状態で保管する。 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。 湿度の低い環境で保管すること。(限度：3年)

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

成分	許容濃度	
	日本産業衛生学会	ACGIH
液化石油ガス	—	1,800mg/m <sup>3</sup> (TWA)

設備対策

取扱い場所には、適切な換気装置を使用する。  
近くに手洗い、洗眼等の設備を設ける。

管理濃度

未設定

保護具

適宜

呼吸器の保護具

呼吸保護具

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

保護服

衛生対策

取扱後は、汚染品の一切をよく洗う。汚染された衣類は脱ぎ、洗濯をしてから再使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質(噴射剤を除く)

物理的形狀	液体	比重	1.0
色	無色	蒸気圧	水と同じ
臭い	刺激臭	蒸気密度	水と同じ
pH	pH13±0.5	蒸発率	約1.0
沸点	100℃	水溶性	完全水溶
引火点	なし		

## 10. 安定性及び反応性(噴射剤を除く)

予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定。酸性物質と激しく反応して発熱する。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	区分4	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分3
皮膚腐食性・刺激性	区分2		
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分外

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

## 13. 廃棄上の注意

排水処理基準を遵守して、pHに注意しながら、廃棄する。  
必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して、各自治体の条例、関係法規に基づいて廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び国連分類	
国連番号	1950
国連輸送名	可燃性エアゾール
国連分類	クラス2.1
容器等級	非該当
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	輸送の際は、容器漏れの無いことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずる。
国内規制がある場合に規制情報	

共通	取扱い及び保管上の注意の各項に従う。
陸上輸送	消防法及び道路法などの定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。
緊急時応急措置指針 指針番号	126 (気体-圧縮又は液化(冷却気体を含む))

## 15. 適用法令

化管法	指定化学物質	: ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム
労働安全衛生法	第57条の2通知対象物	: イソプロピルアルコール
	危険物	: 可燃性ガス(噴射剤)
	有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
	特定化学物質障害予防規則	: 非該当
毒物及び劇物取締法	該当しない	
消防法	該当しない	
PRTR法	~2023年3月31日	: 非該当
	2023年4月1日~	: 非該当
高圧ガス保安法	適用除外	

## 16. その他の情報

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しており、安全な取扱いを確保するための参考情報となり、いかなる保証をするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂される場合があります。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。

本安全データシートは通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な扱いの場合には十分な安全対策を実施の上で使用下さい。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには充分注意し、使用責任者の責任にて適正に取り扱い下さい。